

令和7年度 第2回学校運営協議会 実施報告

○開催日時 令和8年1月28日(水)

授業見学 9時10分～10時00分(1校時)

学校運営協議会 10時10分～11時10分

○委員

会長	大橋 良二	(株)しずくいし 代表取締役
副会長	吉田 孟	雫石高等学校 PTA 会長
委員	上野 幸彦	雫石高校を支援する会 会長〈欠席〉
委員	大久保 誠	雫石商工会青年部
委員	熊谷 一也	盛岡西消防署 雫石分署長〈欠席〉
委員	櫻田 七海	NPO 法人まちサポ雫石 理事長
委員	酒井 文徳	雫石町総合政策課 係長
委員	佐藤 光	雫石町立雫石中学校 校長
委員	佐藤 広志	雫石高等学校 同窓会長〈欠席〉
委員	下川 恵司	雫石町生涯文化スポーツ課 社会教育指導員
委員	藤本 達也	永昌寺住職 雫石町社会福祉協議会会長 雫石保育園理事長〈欠席〉
委員	吉田 修	雫石プリンスホテルファイナンシャルコントロール支配人〈欠席〉
委員	菊池 由美子	岩手県立雫石高等学校長
雫石高校	伊藤 康二	副校長
雫石高校	嵯峨 真由美	事務長
雫石高校	田沼 貴之	総務主任
雫石高校	中村 修子	教務主任

○次第

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 校長挨拶
- 4 教育活動の概況説明
 - ・教育活動の概況について
 - ・学校評価について
 - ・その他
- 5 ご意見、提言
 - ・外部との接点が非常に多い。多岐にわたる外部とのつながりから、学びの機会が多い。学校評価アンケートをとってもらえることはありがたい。「雫石高校に入学してよかった・させてよかった」の項目について、生徒と保護者でギャップがあり、このギャップをから見えてくるものがあると思われる。軽トラ市に参加している生徒のコミュニケーション能力が非常に高いと感じている。

- ・「虹色コンパス」以外にも様々な取組が行われている。雫石中学校において、「よしゃれ」について熟議を行った。高校生が中学生に「よしゃれ」の指導をしている。
「よしゃれ」の伝承について考え、「よしゃれ」から歴史を学び、一体となって町のことを考える機会があればよい。
- ・雫石町役場において、「虹色コンパス」を担当したが、「虹色コンパス」がスタートした当時は、学ぶほど県外志向が強くなる傾向にあった。最近は、雫石高校への入学希望の理由も変わってきている。学びにおいて、教科とガイダンス等を融合させている。地域の方々の雫石高校への期待は大きい。地域との連携に協力いただきたい。
- ・入学した生徒は3年間で成長している。生徒の伸長を図っていただいている。「雫石高校へ入学してよかった・させてよかった」という回答の割合が高い。さらに連携を図っていきたい。
- ・コミュニティー・スクールを取り入れている高校は入学希望者が多く、倍率が高い。秋田県は学力も高いが、コミュニティー・スクールも進んでいる。地域との連携と学力は結びつく。町の方々に取組をもっと周知してほしい。町民に理解してもらえるような取組も行っていてほしい。小学校にもアピールできるようにしてほしい。
- ・子どもたちが成長している。課題を抱えて入学する生徒が多いが、高校入学後、一人ひとりをしっかり見てくれているため、それが学校評価アンケートの結果につながっている。地域における活動は、将来社会に出ても役立つ。
- ・生徒は行事をとおして、笑顔で活動している。雪上運動会も笑顔で活動した。郷土芸能委員会の活動において、地域との連携を閉ざさないようにしていきたい。
- ・3年生の進路目標100%達成に感謝したい。今後も大いに力を発揮してほしい。様々な環境の中で生徒は育つ。より良い環境をつくっていきたい。

6 閉会